

弊社取扱い主要航空会社 ①中部・静岡・富山・小松 ②成田・羽田・関西運航情報 〈2021年4月28日現在〉

航空会社 ◆国際線①◆		発着空港	路線	フライト名	期間	●黄色箇所は今週更新分です			
AY	フィンエアー		中部	ヘルシンキ	080/079	運休	5/31まで	5/31まで(74/73)成田発(金土日)、ヘルシンキ発(水木金)の週3便運行	
BR	エバー航空		中部	台北	127/128	運休	6/30まで	成田発着 5/1~30(木土)、6/1~30(火木土)、関空発着 5/1~30(木土)、6/1~30(火木土)運行予定	
			小松	台北	157/158	運休	5/31まで		
BX	エアブサン	LCC	中部	ブサン	131/132	運休	10/30まで		
CA	中国国際航空		中部	上海	406/405	運休	6/30まで	6/30まで 成田発着 (930/929) 上海 (木) 週1便、成田発着 (146/145) 杭州 (水) 週1便運航 ※4/28は146/145運休	
				北京	160/159	運休	6/30まで		
					760/759	運休	6/30まで		
CI	チャイナエアライン		中部	台北	151/150	運休	6/30まで	6/30まで 毎週(水)の週1便 運航、※5/5(水)運休	
				静岡	台北	169/168	運休		6/29まで
				富山	台北	171/170	運休		6/28まで
CX	キャセイパシフィック航空		中部	香港	533/532	運休	5/31まで	成田発着 (521/520) (木土) 週2便、関空発着 (507/506) (水土) 週2便運航予定	
					539/536	運休	5/31まで		
				台北・香港	531/530	運休	5/31まで		
CZ	中国南方航空		中部	上海	380/379	運休	10/28まで	成田発着 (8102/8101) 広州 (水) 週1便、成田発着 (628/627) 瀋陽 (木) 週1便運航	
				広州	6056/6055	運休	10/28まで		
				大連	620/619	運休	10/28まで		
DL	デルタ航空		中部	ホノルル	612/611	運休	—	名古屋(日)発、デトロイト(金)発 週1便 運航 ※羽田発着 週3便にて運航	
				デトロイト	094/095				
EY	エティハド航空		中部	アブダビ	889/888	運休	—	成田発着 週3便にて運航	
HO	上海吉祥航空		中部	上海	全便	運休	5/31まで	関空発着 上海 1334/1333 (火)、南京 1609/1610 (木) 各週1便にて運航	
				南京	1602/1601	運休	5/31まで		
JL	日本航空		中部	台北	821/822	運休	5/31まで	(台北) 成田 週2便、羽田 週5便運航 ホノルル(74/73)) 羽田発 4/30、5/1~31(火金)、 ホノルル発 4/28、5/1~31(水土)	
				上海	883/884	運休	5/31まで		
				天津	841/840	運休	5/31まで		
				ホノルル	794/793	運休	5/31まで		
KE	大韓航空		中部	ソウル	744/743	運休	5/31まで	5/31まで毎週(土)の週1便 運航 4/30まで 成田発着 (704/703) 毎日、関空発着 (724/723) (水木) の週2便 運航予定	
					742/741				
				ブサン	754/753	運休	—		
LH	ルフトハンザドイツ航空		中部	ソウル	776/775	運休	—	6/3~中部発(火木日)、現地発(月水土)にて運航再開	
				フランクフルト	737/736	運休	6/02まで		
MU	中国東方航空		中部	上海	292/291	運休	10/31まで	4/30までの成田発の上海、成田発の西安の片道のみ発券可能です	
					720/719	運休	10/30まで		
					上記以外	運休	10/31まで		
					744/743	運休	10/31まで		
OZ	アシアナ航空		中部	ソウル	121/122	運休	5/31迄毎週(金)の週1便+6月の毎週(月)発 臨時便運航	※上記臨時便は韓国入国条件が定期便と異なります 成田 (101/102) 毎日、関空 (111/112) 毎日 運航予定	
					123/124	運休	6/30まで		
PR	フィリピン航空		中部	マニラ	437/438	現在、フィリピンの入国制限により4月は28日(水)の1便のみ運航予定 ※羽田、成田、関空、福岡も制限対象の為、詳しくはお問い合わせください 5月のスケジュールは制限がなければ月水金土の週4便です			
				セブ	479/480	運休	4/30まで		
SQ	シンガポール航空		中部	シンガポール	671/672	(水土日)の週3便 運航 成田発着 毎日、関空発着 毎日、福岡発 (木土) の週2便 羽田発着 (火木日) の週3便 運航予定			
TG	タイ国際航空		中部	バンコク	645/644	運休	6/30まで	成田発 643 6/30まで(水木日) 週3便、 羽田発 683 6/30まで (水) 週1便、 関空発 623 6/30まで (木日) 週2便 運航予定	
					647/646	運休	6/30まで		
				中部発着 645/644便は7月2日より(月水金土日)の週5便にて運航再開予定です(政府認可条件)。 日本発便については入国許可書(COE)の事前取得などタイ政府が定める条件をクリアした乗客のみ搭乗可能な「セミコマーシャルフライト」扱いです。また、タイ国籍の方がご帰国便としてご利用いただけるフライトは大使館より指定されております。詳しくはTGのHPIにてご確認ください。					
TW	ティーウェイ航空	LCC	中部	ソウル	238/237	運休	5/31まで	成田発着 212/211(金)、関空発着 282/281(木)、福岡発着 292/291(土)の週1便運航	
UA	ユナイテッド航空		中部	グアム	136/137 172/171	運休 運休	— —	成田発着 197/196 毎日運航	
VN	ベトナム航空		中部	ホーチミン	341/340	運休	5/31まで	特別機の運航は大使館、領事館にお問合わせ下さい ※定期便としての旅客便は 5/31まで HAN発 NRT着として(木土)の片道運航予定	
				ハノイ	347/346	運休	5/31まで		
XJ	タイ・エアアジアX	LCC	中部	バンコク	639/638	運休	—		
5J	セブパシフィック航空 (第1ターミナル利用)	LCC	中部	マニラ	5037/5036	5/31まで(火木)の週2便 運航予定 ※4/30(金)運休 (但し、フィリピンの入国制限により変更の可能性あり) ※成田は6/30まで(水土)の週2便予定、 関空(828/827)、福岡(922/923)は 6/30まで運休			
7C	チェジュ航空	LCC	中部	ソウル	1607/1608	運休	7/01まで	関空発着 1301/1302(日) 週1便運航	
					1601/1602	運休	6/30まで		
7G	スターフライヤー航空		中部	台北	811/810	運休	10/30まで		

航空会社 ◆国際線②◆		発着空港	路線	フライト名	期間	●黄色箇所は今週更新分です
AM	アエロメヒコ	成田	メキシコシティ	057/058	運休	9/01まで
EK	エミレーツ航空	成田	ドバイ	319/318	(火水木金土) 発 週5便運航	
		関西	ドバイ	317/316	(火木金土) 発 週4便運航	
		名古屋-関西のシャトルバスサービス(名古屋発16:00/関西着19:20)(関西発20:30/名古屋着23:50)				
ET	エチオピア航空	成田	アディスアババ	673/672	(水金日) 発 週3便運航	
GA	ガルーダインドネシア航空	羽田	ジャカルタ	875/874	10/31まで羽田発(木金土)、ジャカルタ発(水木金)の週3便運航 ※5/6、13、14発 運休	
		成田	デンパサール	881/880	運休	10/31まで
		関西	ジャカルタ	889/888	10/31まで関西発(水日)、ジャカルタ発(火土)の週2便運航 ※5/5発 運休	
		成田	デンパサール	883/882	運休	10/31まで
NZ	ニュージーランド航空	成田	オークランド	090/099	10/30まで成田(土)発、オークランド(金)発にて 週1便運航	

航空会社 ◆国内線①◆		運航	発着空港	路線	フライト名	スケジュール	運休日	
MM	ピーチアビエーション (第一ターミナル使用)	毎日	中部	中部	新千歳	461 07:30/09:15	※5/6~6/30	
		毎日		新千歳	中部	462 10:55/12:40		
		毎日		中部	新千歳	463 17:20/19:05		
		毎日		新千歳	中部	464 20:40/22:25		
		毎日		中部	仙台	491 13:20/14:35		※5/2~3、6~31、6/3、7~10、14~17、 6/21~24、28~30
		毎日		仙台	中部	492 15:15/16:25		
		毎日		中部	那覇	481 08:30/10:50		※5/6、11~13、16、18~20、23、25~27、30、 6/1~3、8~10、15~17、22~24、29~30
		毎日		那覇	中部	482 11:35/13:50		
毎日	中部	石垣	487 15:20/18:00	※5/2~3、6~31、6/2、9、16、23、30				
毎日	石垣	中部	488 18:45/21:15					

※上記運航スケジュールは、4/27 時点のもので変更になる可能性があります。必ずご確認くださいませようお願いします。

## NEWS & INFORMATION

### バンコク都が新たな規制措置を公表、屋内外でのマスク着用も義務化に (JETROビジネス短信 4/27付)

タイのバンコク首都庁(BMA)は4月25日、バンコク都内における新たな規制措置である施設閉鎖指令を公表した。同日午前時点でバンコクにおける1日当たり新規感染者が1,000人を超えるなど、新規感染者数が増加しているため規制強化措置を講じる。本措置は4月26日に発効し、5月9日まで有効となる。主なポイントは以下のとおり。1.以下の主要施設について閉鎖する。学校、教育機関所有施設・敷地・建物(オンラインは可)、娯楽・同様の施設、パブ、バー、カラオケなどの施設、映画館、劇場、ウォーターパーク、遊園地、遊び場、子供の乗り物、動物園、スケートリンク、ローラーブレードリンク、ボウリング場、ゲームセンター、ゲームカフェ、インターネットカフェ、公共のプール、類似施設、フィットネスセンター、展示場、会議場、博物館、学習・科学センター、史跡、歴史的建造物など、公立・私立図書館など、保育施設(病院内保育施設などを除く)、介護施設(定期的宿泊を許可している施設を除く)、ボクシングリングやスケール、競馬場、柔道や格闘技の競技場所、タトゥー・ボディピアスパーラー、ネイルサロン、お守り販売所、(メディカル)エステクリニック・サロン、健康事業所(スパ、タイ・フットマッサージ屋など)、競技・レース会場など、公演会場・施設、会議室、宴会場、類似施設、美容院、理髪店(ヘアカット、洗髪、整髪可)、店内待機不可)、公園、植物園、スポーツ会場(屋内・屋外)、ゴルフコース、ゴルフ練習場、ウォータースポーツ向けの池

2.以下の管理措置を講ずる。レストラン、フードコート、食堂などは午後9時まで店内飲食の営業可。持ち帰りは午後11時まで可。店内でのアルコール消費は不可。デパート、ショッピングセンター、モールなどは原則午後9時まで営業可。施設内のゲームセンター、乗り物、遊園地などは営業不可。コンビニエンスストア、スーパーマーケット、ナイトマーケットなどは午後10時まで営業可。24時間営業の施設は午前5時から営業開始とする。会議、セミナーは参加者20人以下で実施可。20人を超える場合は許可が必要。上記規制に違反した場合は、禁錮刑や罰金刑またはその両方が科せられる。加えて、BMAはバンコク居住者に対し、住宅や宿泊施設から外出する際、屋内外でのフェイスマスク着用を義務化した。違反者には、最高で2万バーツ(約7万円、1バーツ=約3.5円)の罰金が科される。本措置は、4月26日から発効し、次回通知があるまで有効。

### 香港とシンガポールの「エア・トラベル・バブル」、5月26日開始 (TRAICY 4/26付)

香港とシンガポールの両政府は、エア・トラベル・バブル(ATB)を5月26日より開始することに合意した。両政府の発表によると、前回の取り決めから、出発の14日以内にシンガポール・香港以外の旅行歴がないこと、指定されたトラッキングアプリのダウンロードといった追加条件が設けられた。香港市民はワクチンを2回接種してから14日後の人のみ渡航対象となる。当初の条件である、出発時と到着時に、新型コロナウイルスの検査で陰性である必要があることや、指定されたフライトを利用することといった条件は維持される。直近7日間の経路不明感染者数が1日平均5人を超えた場合には、2週間停止する。シンガポール航空は、シンガポール機では5月26日、香港発では5月28日より専用便の運航を開始する。当初は一部の日に運航し、6月9日からは毎日1往復を運航する。5月はエアバスA350-900型機、6月からはボーイング777-300ER型機を使用する。機内ではキャロットケーキやナシレマなどの人気のシンガポール料理のほか、点心、大豆ソースチキンヌードル、ロータスリーフライとチキンなどの香港料理を楽しむ。キャセイパシフィック航空は、香港発では5月26日、シンガポール発では5月27日より専用便の運航を開始し、6月10日から毎日1往復する。機材はエアバスA350-900型機を使用し、ワクチンを接種済みの乗務員で運航する。スクートは、トラベルバブルの対象外フライトを運航する。このフライトでは、香港での乗り継ぎはできない。両都市のトラベルバブルは当初、2020年11月22日より開始を計画していたものの、香港での流行状況を考慮して延期していた。

### 中部空港、GWの国際線710人 19年比99.5%減 (Aviation Wire 4/26付)

中部国際空港会社は、中部空港(セントレア)のゴールデンウィークの国際線予約状況を発表した。出入国を合計した予約数は710人で、新型コロナウイルス以前の2019年と比較すると99.5%減となる。対象期間は4月29日から5月5日までの7日間。予約数のうち、出発客は2019年比99.5%減の380人、到着客は99.4%減の330人。2020年は4月1日から6月17日まで国際線の旅客便を運休し、昨年のゴールデンウィーク期間は国際線の運航がなかった。期間中の運航便数は11往復。7日間の期間中で最も多い3往復を運航するのがフィリピン航空(PAL/PR)とセブパシフィック航空(CEB/5J)で、いずれもマニラ線を運航する。このほか、シンガポール航空(SIA/SQ)のシンガポール線が2往復、大韓航空(KAL/KE)とアジアナ航空(AAR/OZ)のソウル線、デルタ航空(DAL/DL)のデトロイト線が1往復ずつとなる。例年発表している方面別の予約旅客数は、運航便が限定されていることにより発表を見送った。

### JAL、春秋航空日本を子会社化へ LCC事業を強化 (Aviation Wire 4/25付)

日本航空(JAL/JL、9201)は、LCC(低コスト航空会社)の春秋航空日本(SJO/1J)を連結子会社化する方針を固めた。2020年11月に公募増資などで調達した資金のうち、数十億円を出資して6月に過半数を取得する。新型コロナ後はJALが得意とする出張需要よりも、観光需要やVFR(友人・親族訪問)の回復が早いとの見方から、LCCビジネスの強化を進めており、中国市場の取り込みを目指す。春秋航空日本は、中国最大のLCCである春秋航空(CQH/9C)の子会社で、2014年8月1日に成田空港を拠点として就航した。今年の夏ダイヤ期間は国内線と国際線を3路線ずつ計6路線運航しており、国内線は成田-札幌(新千歳)、広島、佐賀、国際線は成田-ハルビン、天津、南京の各線を運航しているが、国内線は週1-2往復ずつ、国際線は毎週1往復または隔週1往復と大幅に減便している。JALは、2020年11月に公募増資で最大約1826億円を調達。このうち150億円をLCC事業に投資しており、100%出資する

### アメリカ国務省、全世界の渡航情報を改訂 日本は上から2番目 (TRAICY 4/24付)

アメリカ国務省は、4月20日から22日にかけて全世界の渡航情報を改訂し、約8割の国を最上級の「渡航中止(Do Not Travel)」とした。日本に対しては4月21日付けで、上から2番目の「渡航の再検討(Reconsider Travel)」を継続している。レベル2の「渡航注意強化(Exercise Increased Caution)」には、ベリズ、ベナン、グレナダ、セントクリストファー・ネイビス、シンガポール、韓国、タイ、ベトナム、リベリア、モーリタニア、モントセラト、ルワンダ、スリランカ、ジンバブエ、パラオの15ヶ国。最もリスクが低い、「通常の注意(Exercise Normal Caution)」は、プータンのみとなった。新型コロナウイルスの感染拡大が、旅行者に前例のないリスクをもたらしたことを考慮し、全ての海外旅行を再考することを強く推奨しており、アメリカ疾病予防管理センター(CDC)の旅行健康情報を反映し、更新したという。

## ロシア政府、日本を含む29ヶ国との往来制限を緩和 乗継便の利用可能に (TRAICY 4/23付)

ロシア政府は、日本を含む29ヶ国との往来制限を、4月16日より緩和した。これまでは、日本からロシアへの入国を直行便に限り認めていたものの、対象国からの入国に限って、乗り継ぎ便の利用も認める。対象国は日本のほか、アゼルバイジャン、アラブ首長国連邦(UAE)、アルメニア、インド、ウズベキスタン、イギリス、エジプト、エチオピア、カザフスタン、カタール、韓国、キルギス、ギリシャ、キューバ、シリア、シンガポール、スイス、スリランカ、セjšェル、セルビア、タジキスタン、タンザニア、ドイツ、トルコ、日本、フィンランド、ベネズエラ、ベトナム、モルディブ。なお、イギリスとトルコ、タンザニアの3ヶ国では、6月1日まで定期便の運航を一時的に停止している。英語かロシア語による入国3日以内に受検した新型コロナウイルスの陰性証明書の携帯や14日間の自己隔離措置は維持されているほか、入国する外国人には無作為に抽出して、新型コロナウイルスのPCR検査を行っている。

## JAL、国際線燃油サーチャージを再設定 6月発券分から、欧米片道7,700円 (TRAICY 4/22付)

日本航空(JAL)は、国際線の燃油特別付加運賃(燃油サーチャージ)を、6月1日発券分より再設定する。航空燃料のシンガポールケロシンの市況価格の2ヶ月間の平均を、2ヶ月間の為替レート平均で円換算した際の金額に応じて燃油サーチャージの徴収すると定めている。2月から3月のシンガポールケロシンの市況価格は1バレルあたり平均66.08米ドル、1米ドル107.20円だったため、円貨換算額は7,084円となった。6月1日から7月31日までの発券分の日本発旅程では、いずれも片道あたり、韓国・極東ロシア線は300円、韓国・モンゴル以外の東アジア線は1,700円、ガム・パラオ・フィリピン・ベトナム・モンゴル・ロシア(イルクーツク)線は2,200円、タイ・マレーシア・シンガポール・ブルネイ・ロシア(ノヴォシビルスク)線は3,300円、ハワイ・インドネシア・インド・スリランカ線は4,400円、ハワイを除く北米・ヨーロッパ・中東・オセアニア線は7,700円となる。

## 外国人の入国受け入れ停止を4月30日まで延長 (JETROビジネス短信 4/19付)

フィリピン政府の新型コロナウイルス対策の省庁間タスクフォース(IATF-EID)は4月16日、外国人の入国受け入れ停止の期間を4月30日まで延長すると発表した。政府は当初、3月22日から4月21日までを外国人入国受け入れ停止期間と設定していた。対象外となるのは外交官や国際機関職員など一部に限ってきたが、4月16日のIATF-EID発表では、新たに「2021年3月22日以前にフィリピン外務省(DFA)が正式に発行した入国停止免除文書を保有する外国人」なども入国停止措置の例外として加えた。フィリピンでは、特にマニラ首都圏をはじめとして新型コロナウイルスの新規感染拡大が続いているため、同地域を中心に厳格な経済・移動制限措置を実施している。マニラ首都圏とプランコ州、カビテ州、ラグナ州、リサール州は4月12日から4月30日まで、コミュニティ隔離措置として2番目に厳格なMECQ(修正を加えた、強化されたコミュニティ隔離措置)を運用している。マニラ首都圏では、4月30日まで午後8時～翌日午前5時の外出を禁止している。なお、従業員の通勤や事業所での活動は外出禁止時間の制限対象外となる。また、外出理由については、活動が許可された事業所からの財やサービスの享受、あるいは活動が許可された事業所での勤務、散歩やジョギングといった個人で行う運動などに制限している。

## 厚生労働省、コロナ検査証明書要件を厳格化 4月19日から (TRAICY 4/18付)

厚生労働省は4月14日、入国者に対する新型コロナウイルスの検査証明書要件を、4月19日から厳格化することを通達した。出国前72時間以内に検体を採取した、採取検体が「鼻咽頭ぬぐい液(Nasopharyngeal Swab)」か「唾液(Saliva)」に限る。現在、日本で無症状者に対する検査方法として推奨されていない、抗原検査(antigen)、迅速抗原検査(rapid antigen)、抗体検査(antibody)による検査は認められない。結果判明が出国前の72時間以内である検査証明書も無効となる。厚生労働省や在外公館は、可能な限り厚生労働省の指定するフォーマットを利用して検査証明を取得するよう求めている。また、日本語と英語のみだった指定フォーマットに、アラビア語、インドネシア語、ウルドゥー語、韓国語、スペイン語、タイ語、ドイツ語、フランス語、ベトナム語、ベルンガ語、ポルトガル語、ロシア語も加えている。また、日本入国後14日間は、位置情報アプリ「OEL」、ビデオ通話アプリ「Skype」か「WhatsApp」、接触確認アプリ「COCOA」をインストールし、位置情報の保存を設定した、iOS13.5以上かAndroid6.0以上のスマートフォンを所持する必要がある。これらのアプリをインストールできないスマートフォンや、スマートフォンを持っていない人は、入国時に空港でレンタルすることを求められる。

## 統合後のアジアナ航空、大韓航空にブランド統一 LCC3社は統合へ、機種削減も (TRAICY 4/20付)

大韓航空の禹基洪(ウ・ギホン)社長は3月31日、オンライン記者懇親会を開き、アジアナ航空の買収・統合計画を説明した。アジアナ航空や系列10社のデューデリジェンスを、2020年12月から3ヶ月かけて実施した後、今年3月17日に韓国産業銀行に統合計画を提出、当局から求められた書類を追加提出するなどの補完作業を行っている。9ヶ国の当局では統合が審査が行われ、トルコからはすでに承認を得ており、年内にも全ての承認が得られるように作業を進めている。両社の統合にあたっては、システムや組織、会計制度、マイルの統合のほか、アライアンスの問題など、数々のプロジェクトから構成されており、準備期間は約2年を見込んでいた。アジアナ航空は大韓航空の傘下に編入して別ブランドとして運航を継続した後、大韓航空と合併し、大韓航空のブランドとして運航する。別ブランドとして運航する期間は、共同運航(コードシェア)などの協力関係にとどまる。合併により、仁川国際空港を中心としたグローバルネットワークを構築し、北東アジアのハブ空港として成長や発展が可能であるとしている。両社を独立した会社として運営するよりも、統合したほうがシナジーが期待でき、雇用維持につながるほか、重複路線の効率化や新規就航地の増加、運航スケジュールの多様化、顧客の選択肢の増加、マイルの獲得や利用手段の多様化など、規模の経済によるメリットがあるとしており、相乗効果は年間3,000~4,000億韓国ウォン程度を見込む。運航規模が同一であっても、必要な機材数は約10%程度少なく済むという。一方で、両社が保有する機材は様々で、同じ機種であってもエンジンが異なることから、機種を簡素化する方針も示した。アジアナ航空が導入しているリース機は、5年以内に期間が満了する多くの機材が比較的多いほか、機齢20年以上の機材の退役や新型機の導入により簡素化し、運用の効率化やコスト削減を進める。大韓航空傘下のエンジニアと、アジアナ航空傘下のエアバス、エアソウルの3つの格安航空会社(LCC)は統合する見通しで、統合後の大韓航空傘下に置く案と、現在のエンジニアと同様に韓進ナフ傘下に置く案の2つから検討している。統合によって、アジアでトップレベルのLCCの地位を確立したい考え。本社をどこに置かも検討している。IT子会社の韓進情報通信、アジアナIDTも統合する。予約・発券システムを旅行代理店に提供するトパス(Topas)、アジアナセイバー(Asiana Sabre)も海外の合併パートナーとともに協議する。韓国国内で約2.8兆韓国ウォンの市場規模とみられるMRO事業も、従来どおり大韓航空が自社で展開する。今後は整備能力を拡充し、海外で行っている整備を国内でできるようにする。マイルは、両社のマイルを比較した上で、合理的なレートで算定した上で統合する。利用者にとって客観的かつ公正な手続きを経て、合理的な結果が出るようにしている。寡占化に対する懸念については、仁川国際空港の両社の発着率は約40%と、ハーツフィールド・ジャクソン・アトランタ国際空港のデルタ航空(79%)、ダラス・フォートワース空港のアメリカン航空(85%)、フランクフルト国際空港のルフトハンザ・ドイツ航空(67%)と比べると小さいとした。韓国発の貨物のシェアも47.5%であることや、世界の航空市場は完全競争に近づいていること、航空運賃は政府認可が必要であることなどから、価格面での懸念は小さいとした。統合後も供給量は変わらないことから、人員整理は行わない。両社で重複する間接人員は約1,200人程度発生するものの、定年退職や自然減を考慮すると問題のないレベルだという。

## JAL、デジタル証明書アプリ「VeriFLY」の試験導入を4月26日開始 アメリカ行き対象 (TRAICY 4/18付)

日本航空(JAL)は、アメリカ行きを対象に、Daonが提供するデジタル証明書アプリ「VeriFLY」を4月26日より試験導入する。「VeriFLY」は、海外の渡航に必要な健康証明などの入国条件などを確認できるアプリ。新型コロナウイルス検査の陰性証明書、宣誓書、チェックリストを登録し、チェックインカウンターで「Ready to Travel」画面を提示することで、搭乗手続きをスムーズに進めることが可能となる。対象となるのは、JALが運航する日本発アメリカ行きのほか、JAL国内線からの乗り継ぎ、他社アメリカ国内線への乗り継ぎ、JAL国際線同士の乗り継ぎ旅程を利用する16歳以上の人。同行者設定もできる。アメリカ以遠の国際線利用者は対象外となる。期間は7月25日まで。試験導入は日本出国時の活用を目的としたもので、アメリカ入国時には現行通りの手順となる。陰性証明書は提示できるよう、用意しておく必要がある。

## ガルーダ、5月末までジャカルタ2路線のみ デンパサール2線は運休継続 (FLY TEAM 4/19付)

ガルーダ・インドネシア航空は2021年5月末までの日本/インドネシア間の運航スケジュールを決定しました。羽田/ジャカルタ線は週3往復、関西/ジャカルタ線は週2往復の運航で、成田-関西発着のデンパサール線は全便運休を継続します。羽田/ジャカルタ線は、羽田発が木、金、日、ジャカルタ発が水、木、金の週3往復。関西/ジャカルタ線は、関西発が水、日、ジャカルタ発が水、土の週2往復です。なお、現在、定住許可や外交滞在許可保持者などを除き、外国人のインドネシアへの入国は停止されています。入国できる場合には、72時間以内に行われたPCR検査陰性証明書の提示、現地到着時にもPCR検査、5日間の隔離などが必要です。外国人入国禁止措置は2週間ごとに見直しが行われています。

## シンガポール航空、5月よりデンパサール線を週2便で再開 (アジアトラベルノート 4/16付)

シンガポール航空(Singapore Airlines)は、運休が続いているシンガポール~デンパサール線を5月4日より再開すると発表しています。運航は火・金の週2便で使用機材はボーイング737-800(ビジネス12席、エコノミー150席)。予定しているフライトスケジュールは以下の通りです。  
シンガポール⇒デンパサール(バリ) SQ944 SIN16:10 DPS18:50 火 SQ938 SIN09:15 DPS11:55 金  
デンパサール(バリ)⇒シンガポール SQ945 DPS20:00 SIN22:40 火 SQ939 DPS13:05 SIN15:50 金  
同社によるインドネシア路線はジャカルタ線に次いでこれが2路線目。この他にシンガポール航空グループでは、シルクエアがメダン線を、LCCのスクートがスラバヤ線を運航中です。なお、運航再開日(5月4日)よりデンパサールも同グループの乗り継ぎ対象都市に加わるようになります。

## 中部空港の国際線受け入れ拡充に向けた進捗(4月7日時点) (中部国際空港 NGO NEWSLETTER 4月号)

2021年5月1日以降の検査による国際線到着便の受入容量は下記の通りです(4月と変更なし)。

① 到着便数:制限なし ② 到着時間帯:7時~19時 ③ 到着旅客数:1,000名/日

※ 但し、現在航空局により、外航社の到着旅客数が4月30日までの間100名/便に制限されています。5月以降について、現時点では未定です。

## エールフランス、羽田→パリ6月再開 週3往復 (Aviation Wire 4/15付)

エールフランス航空(AFR/AF)は4月15日、パリ→羽田線を現地時間6月20日から週3往復で再開すると発表した。羽田発は21日から。7月以降は需要に応じて増便を検討している。運航日はパリ発が水曜と金曜、日曜、羽田発が月曜と木曜、土曜。運航スケジュールは、羽田行きAF274便がパリを午後11時25分に出発し、翌日午後6時30分に着く。パリ行きAF293便は午後10時55分に羽田を出発して、翌日午前4時35分に到着する。機材はボーイング777-300ER型機で、座席数は4クラス296席(ファースト4席、ビジネス58席、プレミアムエコノミー28席、エコノミー206席)となる。また、パリ→成田線(AF276/275)とパリ→関西線(AF292/291)も週3往復ずつ運航。機材は成田線が777-300ER、関西線が787-9となる。 AF274 羽田(23:25)→パリ(翌日18:30)運航日:水金日 AF293 羽田(22:55)→パリ(翌日04:35)運航日:月木土

## 欧州、デジタル健康証明で合意、検査陰性やワクチン接種証明で域内を自由移動、今年夏までに導入の方針 (トラベルボイス 4/15付)

欧州連合(EU)加盟国は、デジタル健康パス「デジタル・グリーン証明」の提案について、その技術仕様を記した法案に支持を表明し、欧州議会で本格的な交渉に入ることで合意した。EUでは、デジタル・グリーン証明によって検査の陰性やワクチン接種などを証明することで、域内での安全で自由な移動を進めていきたい考え。デジタル・グリーン証明の法的枠組みは2つの立法案で構成。1つ目はEU加盟国の市民およびその家族について、2つ目はEU域外の国籍でEU加盟国に滞在あるいは居住している人に関するもの。現在の提案では、すべてのEU加盟国のほか、アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー、スイスでも適用される見込み。議会は交渉に入るうえで、法案を修正。ワクチン未接種者に対する差別をなくすために、デジタル・グリーン証明は自由な移動の権利を行使するための前提条件でも渡航証明でもないことを明確にしたほか、第三国でワクチン接種を受けたEU加盟国以外の国籍でEUに居住する人の扱い、データ保護規制の厳格化などを含めた。今後、欧州議会は、4月26日~29日に本会議を開催。加盟国はそれぞれの立場を示し、最終協議を行ったうえで、今年夏までにデジタル・グリーン証明を導入する方針だ。

## シンガポール政府、「IATAトラベルパス」を採用 (TRACY 4/6付)

シンガポール政府は、国際航空運送協会(IATA)が開発を進める、「IATAトラベルパス」を、新型コロナウイルスのPCR検査の結果として認めることを決めた。5月1日以降、シンガポールへ旅行する場合、「IATAトラベルパス」を使用し、搭乗手続きや入国審査で、搭乗前のPCR検査結果を提示することができるようになる。シンガポール航空は3月、シンガポール発ロンドン行きの乗客を対象として、「IATAトラベルパス」の試験導入を実施していた。「IATAトラベルパス」のアプリには、乗客のプロフィールとパスポート情報から構成されるデジタルIDや、シンガポール国内7施設で実施した新型コロナウイルス検査の結果の格納のほか、旅行制限や入国条件などの確認もできる。すでに20社以上の航空会社が、「IATAトラベルパス」の試験運用を行うことを発表している。IATAとシンガポール民間航空庁は、入国審査官がQRコードのスキャンすることによる確認を可能にすることや、「IATAトラベルパス」から航空会社や入国管理局のシステムに健康証明書をバックエンドで送信し、搭乗・到着前の手続きを行うこと、デジタル予防接種証明書をIATAトラベルパスに含めることといった機能強化にも取り組んでいる。

## マレーシア、短期商用目的のビザなし入国が可能に、入国許可の申請や支払いできる新サイト開設 (トラベルボイス 3/19付)

マレーシア投資開発庁(MIDA)は、ビジネスを目的とした外国人の入国を円滑に進めるポータルサイト「My Safe Travel」を発表した。このサイトは、長期滞在(ビザ有)と短期滞在(ビザ無し)の14日以内の滞在のビジネスを目的とした外国人の入国をサポートするもの。渡航前の入国許可の申請や支払いを行うことができる。このサイトを運用するにあたって、潜在的な投資家、既存の投資家、ビジネス顧客、技術者に限定して、ビザなしの短期商用目的での入国が可能になる。また、入国の際には厳格なSOP(感染防止対策)遵守を原則として入国後の隔離が免除になる。

## ルフトハンザ・ドイツ航空、名古屋/中部~フランクフルト線の運航再開 6月2日から週3往復で (TRACY 3/16付)

ルフトハンザ・ドイツ航空は、名古屋/中部~フランクフルト線の運航を、6月2日より再開する。名古屋/中部発は火・木・日曜、フランクフルト発は月・水・土曜の週3往復を運航する。機材はエアバスA340-300型機を使用する。 LH737 名古屋/中部(09:55)~フランクフルト(15:10) / 火・木・日(6月3日~10月28日) LH736 フランクフルト(14:05)~名古屋/中部(08:30+1) / 月・水・土(6月2日~10月30日)

## フィンエアー、夏スケジュール運航計画発表 福岡線は運休 (TRACY 3/15付)

フィンエアーは、日本路線の夏スケジュール期間の運航計画を発表した。現在運航している、東京/成田~ヘルシンキ線を週3便で継続する。東京/羽田~ヘルシンキ線の新規開設と、名古屋/中部・大阪/関西~ヘルシンキ線の運航再開は、6月を予定する。当初は、大阪/関西~ヘルシンキ線を3月29日に再開、東京/羽田~ヘルシンキ線を4月24日に新規開設することを計画していた。また、夏期のみ季節定期便として運航している福岡~ヘルシンキ線は運休する。札幌/千歳~ヘルシンキ線も当面の間、運休を決めている。

AY074 東京/成田(11:00)~ヘルシンキ(15:00) / 金・土・日 AY073 ヘルシンキ(17:45)~東京/成田(09:10+1) / 水・木・金

## セントレア(中部)=バンコク間 運航再開のお知らせ (タイ国際航空ニュースレターより抜粋 3/1付)

タイ国際航空(TG)は2021年7月2日より、セントレア(中部)=バンコク線の一部運航再開を下記の通り予定しております。(政府認可条件)

■セントレア発 TG645便(11:00発/15:00着) 7月2日より週5便(月・水・金・土・日) ■バンコク発 TG644便(00:05発/08:00着) 7月2日より週5便(月・水・金・土・日)

タイ国際航空運航便をご利用いただくには、渡航に際して政府および関係機関が定める規定を満たす必要があります。1. 入国許可証(COE)について タイ大使館にて入国許可証(COE)を取得できない場合、ご搭乗いただけません。(入国許可証の申請にはビザまたは再入国許可証印が必要です。) 2. 検査隔離期間について タイ入国において、全ての渡航者はタイ当局に指定された医療従事者から医療検査を受け、バンコクにて14日間以上の隔離施設(ASQ)にての検査隔離が引き続き必要です。この検査隔離はタイ国内線を含む全てのトランジットの方も対象となります。